

# 水稻の生育状況について④

令和5年7月11日

常陸太田地域農業改良普及センター

## 1. 気象について(日立市)

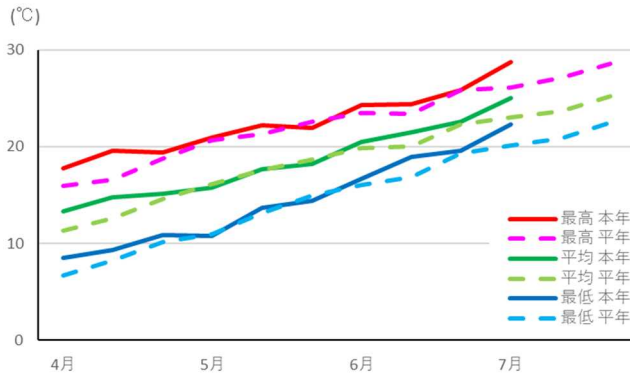


図1 気温の推移

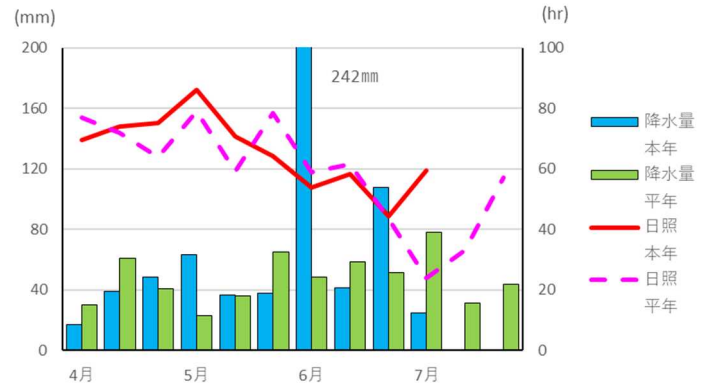


図2 降水量と日照時間の推移

・6月の気象は、高温で推移し、降水量は非常に多雨で日照時間は平年並みでした。7月に入ってから引き続き高温傾向で推移しています。日照時間は多く、降水量は局所的に激しい雷雨のあった地域もありますが、観測地点では雨量は少ない状況です。気象庁からは今後2週間、高温～かなりの高温で推移するとの予報が出ています。

## 2. 水稻(コシヒカリ)の生育状況について(7月10日時点)

・水稻の生育は、草丈が平年と比べ10%高く生育しています。これは、6月から7月上旬にかけて高温傾向で推移したことによるものと考えられます。茎数は平年並で、葉色は淡く推移しています。

・高温傾向と移植時期が早かったため幼穂が早く形成され、常陸太田市では幼穂長が長くなっています。出穂期の予測について北茨城市で8月1日(平年並)、常陸太田市は7月25日(同2日早)です。

・今後の水管理は間断かんがい(入水後は3～4日程度止水管理し、水が抜けたら1～2日後に入水を繰り返す)を行います。幼穂が形成される時期には、田面を乾かさないようにしましょう。

・出穂15日前(幼穂長2～4cm)が追肥適期ですが、草丈が伸びている場合は倒伏防止のため、施肥量を抑えたり、追肥の時期を2日程度遅らせます。元肥一発肥料の場合は、追肥は行わないでください。

・今年はクモヘリカメムシの発生が早くなっています。畦畔除草は出穂15日前までに終わらすとともに、適期防除(出穂期～穂揃い期、乳熟期)に心がけましょう。

調査地点 ・栽植密度	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (葉色板)	SPAD	幼穂長 (mm)
北茨城市 関本町関本中 14.6株/m <sup>2</sup>	4月29日	78.1	30.9	451	3.1	27.5	3.8
	(5月3日)	(70.1)	(25.8)	(471)	(3.9)	(31.9)	(2.2)
常陸太田市 磯部町 13.6株/m <sup>2</sup>	4月21日 (4月28日)	80.8 (73.3)	36.5 (31.2)	486 (466)	3.1 (3.8)	28.1 (33.9)	25.4 (4.3)

注：カッコ内は過去5年間(H30-R4)の平均値